

[経営管理研究室]A. 林業経営に関する研究 : 2. 椎茸生産に関する経営学的研究

青木, 尊重
九州大学農学部附属演習林 : 助教授

柿原, 道喜
九州大学農学部附属演習林 : 助手

坂本, 格
九州大学農学部附属演習林 : 教務員

吉良, 今朝芳
九州大学農学部附属演習林 : 教務員

<https://doi.org/10.15017/1456138>

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和38年度, pp.47-49, 1964. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :

2. 椎茸生産に関する経営学的研究

青 木 尊 重 . . . 柿 原 道 喜
坂 本 格 . . . 吉 良 今 朝 芳

研究の目的

最近の我国経済の異常なほどの成長発展に伴い木材需要構造や就業構造の急激な変化は、この椎茸生産経営においてもいろいろな影響を与えずにはおかない。

とくに原木資源、生産の技術面、流通面そして労働面などで椎茸生産経営にとって、すでに現実の問題となっている。これらに対する個別経営の対応の仕方は、地域、経営規模その他の諸条件によって多種多様な形をとっている。したがってその改善に取組まない限りは、生産性の向上、収益の増大は望み得ない。これらの椎茸生産経営を発展させる上には、どこに問題点があるかを経営学的視点から探究することをこの研究の目的とする。

研究経過および結果

椎茸生産経営はその生産形態において、単純生産経営と複合生産経営に大別される。そこで椎茸生産の現状把握を行うとともに、その都度、下記のように発表してきたのである。

(1) 椎茸生産に関する諸問題

日本林学会九州支部大会講演集 第15号 1961年

1. 現 状
2. 問題の提起

3. 栽培管理に関する一考察
4. 椎茸原木に関する2、3の考察
5. 費用及び収益性について
- (2) 椎茸生産に関する経営学的研究(序説)
- 第2回日本林学会大会講演集 1962年
- (3) 椎茸生産に関する現状分析(I)
- 大分県下椎茸生産者実態調査 —
- 九州大学農学部演習林集報 第17号 1962年
- (4) 椎茸生産に関する現状分析
- 日本林学会九州支部大会講演集 第16号 1962年
1. 宮崎県における椎茸生産の地域性および構造
2. 宮崎県諸塚村の椎茸生産の実態(1)
3. " (2)
4. 冷蔵設備の経済的機能の分析
- (5) 椎茸生産に関する経営学的研究(第1報)
- 第3回日本林学会大会講演集 1963年
- (6) 椎茸生産の現状と将来 山林 No. 948 1963年
- (7) 椎茸生産に関する現状分析(II)
- 宮崎県における椎茸生産の現状分析 —
- 九州大学農学部演習林集報 第18号 1963年
- (8) 熊本県下における椎茸生産の現状
- 日本林学会九州支部大会講演集 第17号 1963年
1. 椎茸生産の概況および2、3の特徴
2. 専兼業別椎茸生産の実態
- (9) 熊本県下の椎茸価格形成について " "
- (10) 乾燥椎茸の変敗防止 " "
- 温度と湿度条件について —

(11) 椎茸生産に関する現状分析(Ⅲ)

—— 熊本県における椎茸生産の現状分析 ——

九州大学農学部演習林集報 第20号 1964年

(12) 椎茸生産に関する経営学的研究(第2報)

—— H家の椎茸生産経営について ——

第74回日本林学会大会講演集 1964年

(13) 椎茸生産に関する経営学的研究(第3報)

—— 椎茸の価格形成について ——

第74回日本林学会大会講演集 1964年

しかしこれらの諸発表は単純生産経営における問題点および複合生産経営における2、3の特質を指摘したにとどまり、現状分析の段階であったが、その現状分析のなかで、問題点として浮び上がってきた栽培技術の面における2、3の点について粕屋演習林久原作業所内に試験地を設置(1962年)、次の試験を実施中である。

- (1) 種駒の品種別、樹幹の部分別発生量試験
- (2) 雑菌防止試験
- (3) 周年栽培の検討
- (4) こゝで発生した椎茸をもちいての鮮度保持試験

今後の見越し

以上の現状分析を基礎に椎茸生産経営が現在内包している問題を分析検討し、椎茸生産経営が真に安定的産業として確立するためには、いかにあるべきかという点にまで接近してゆきたい。そのためには、実施中であるところの試験の成果と複合椎茸生産経営をより深く探究してゆきたい。